

競 技 注 意 事 項

- 1 本大会は、2023年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会競技注意事項により行う。
- 2 競技者の招集について
点呼は、プログラムに記載された招集開始時刻の5分前までに、ゴール後方に張り出された点呼用紙の自分のビブス番号に○印を付ける。トラック競技出場者は各自で腰ナンバーを取ること。その後、招集開始時刻から招集完了時刻までに現地に集合し、トラック競技は出発係、フィールド競技は跳躍審判・投てき審判のチェックを受けること。○印が無い場合や招集完了時刻を過ぎても本人が現地にいない場合は棄権とみなし処理をする。また、リレー競技のオーダーの提出は、その種目の招集完了時刻の1時間前とする。
- 3 当該種目出場の競技者以外は、競技場内に立ち入ることはできない。
- 4 トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラムに記載された通りとする。
- 5 トラック競技出場者は、腰ナンバーカードを招集所点呼の時に受け取り、右腰やや後方につけること。
- 6 跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部のいずれか一方でよい。
- 7 棒高跳におけるバーの上げ方は次のとおりとする。
【女子】練習 1m50 競技 1m60 以降 10cm 上がり
【男子】A…練習 2m70 競技 2m80 以降 10cm 上がり
 B…練習 1m50 競技 1m60 以降 20cm 上がり 2m40 以降 10cm 上がり
 *Aは、記録3m10以上。未満についてはBとする。
※天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、当該審判長が決定する。
※選手が1人になった場合、本人の希望によりバーを上げるものとする。
- 8 三段跳の踏切板は、砂場から男子は9mと11m・女子は7mと9mとする。
- 9 走高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。
【男子】練習 1m15 競技 1m20～1m70 までは 5cm 上がり 以降 3cm 上がり
【女子】練習 1m05 競技 1m10～1m40 までは 5cm 上がり 以降 3cm 上がり
※天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、当該審判長が決定する。
※選手が1人になった場合、本人の希望によりバーを上げるものとする
- 10 棒高跳のポール以外の用器具は競技場備え付けの物を使用する。ただし、投てきの用器具については検定を通ったものを使用しても良い。
- 11 競技場の競走路・助走路は全天候舗装のため、競技用靴のスパイクの長さは 9mm 以下を使用しなければならない。走高跳・やり投は 12mm 以下とする。

12 その他

※ 砲丸の重さ

区分	一般男子	高校男子	中学男子	女子	中学女子
重さ	7.260kg	6.000kg	5.000kg	4.000kg	2.721kg

※ 円盤の重さ

区分	一般男子	高校男子	中学男子	女子
重さ	2.000kg	1.750kg	1.500kg	1.000kg

※ ハンマーの重さ

区分	一般男子	高校男子	女子
重さ	7.260kg	6.000kg	4.000kg

※ JH・YH・中学1年男子100mHの設置

区分	ハードル高さ	スタートから第1ハードルまで	ハードル間
男子JH	0.991m	13.72m	9.14m
女子YH	0.762m	13.00m	8.50m
100mH(1年)	0.838m	13.00m	8.50m